

## &lt;集团的かつ持続可能な支援体制の構築に取り組む事例&gt;

## ○ 6 集落の共同事務局化による共同活動の円滑化

## 1. 集落協定の概要

|                  |  |                          |    |              |
|------------------|--|--------------------------|----|--------------|
| 市町村・協定名          | 宮城県刈田郡七ヶ宿町<br>七ヶ宿町 中山間地域等直接支払推進協議会<br>(干蒲、湯原、峠田、滑津、関、横川) |                          |    |              |
| 協定面積<br>215.2ha  | 田 (100%)   | 畑                        | 草地 | 採草放牧地        |
|                  | 米・そば・牧草  | —                        | —  | —            |
| 交付金額<br>1,999万円  | 個人配分   | (50%) 干蒲・湯原・峠田・滑津・横川集落協定 |    | (0%) 関集落協定   |
|                  | 共同取組活動   | (50%) 干蒲・湯原・峠田・滑津・横川集落協定 |    | (100%) 関集落協定 |
| 協定参加者            | 農業者185人、非農業者35人、その他の組織1組織                                |                          |    | 開始：平成12年度    |
| 人・農地プラン<br>の作成状況 | 集落の一部で作成済<br>(作成済み：湯原、作成中：峠田、滑津、関、横川、作成していない：干蒲)         |                          |    |              |

## 2. 取組に至る経緯

第1期対策への取組を始めた頃から、事務作業の効率化を図るため、6集落共同の事務局として、「七ヶ宿町中山間地域等直接支払推進協議会」を設置し、事務処理に係る農家の負担軽減や共同取組活動を円滑に行うための集落間の連絡調整、意思統一の役割を担っている。

## 3. 取組の内容

本協議会の役員には、各集落協定の代表者が位置付けられているが、実務は同協議会で雇用している担当者（1名）が集落協定の運営に係る事務処理全般を担っており、また、役場職員がその事務処理の指導・監督を行っている。

また、年度初めに開催する総会と、年末の代表者会議では、他の集落協定の共同取組内容や活動状況等についての情報交換をする機会が設けられているため、各集落協定が共通認識を持って活動に取り組んでいるほか、年1回、先進地への視察研修会を行っている。

共同取組活動としては、農業生産活動や農業生産体制整備の他に環境保全活動に力を入れている。例えば、滑津集落協定では、有機農業実践農家に対し助成を行っているほか、環境保全に力を入れ、毎月、集落全体で親子松、振袖地蔵、花街道等の観光関連施設や公共施設の清掃、草刈りなど景観の保全に努め、町のイベント「わらじで歩こう七ヶ宿」をはじめとして、町を訪れる観光客の目を楽しませている。



【役員会の様子】



【環境美化活動の様子】

### 〔七ヶ宿町の将来像〕

- 適正な農業生産活動が維持され洪水や土砂崩壊の防止、定住条件の向上等を通じ地域の経済活動や生活環境等が改善される。



### 〔将来像を実現するための活動目標〕

- 生産性や収益を向上させるため、農作業の効率化や共同化、農業機械・施設の共同化等を推進する
- 担い手への農地集積の推進と、農業者の育成、確保を図る
- 多面的機能の持続的発揮に向けた、非農家や他集落との連携を推進する

### 〔活動内容〕

七ヶ宿町中山間地域等直接支払推進協議会  
(6集落協定の代表者等で構成)



集落の事務及び会計処理を引き受け

### 協 定 集 落

#### ○農業生産活動等（全集落）

- ・ 農地の耕作・管理  
(田 215.2ha)
- ・ 農地法面の管理
- ・ 水路・作業道の管理  
(水路約 47.8km,  
農道約 19.6km)

※水路・作業道の長さ、管理作業実施回数は協定ごとに異なる

#### ○多面的機能の増進活動

- ・ 周辺林地の下草刈り  
(4 協定)
- ・ 景観作物の植え付け  
(1 協定)
- ・ 堆きゅう肥の施肥  
(3 協定)

#### 加 算 措 置

- 規模拡大加算  
(滑津集落協定)
- (関集落協定)

#### ○農業生産活動の体制整備

- ・ 協定農用地の拡大  
(3 協定)
- ・ 機械・農作業の共同化  
(2 協定)
- ・ 高付加価値型農業の実践  
(3 協定)
- ・ 新規就農者の確保  
(1 協定)
- ・ 担い手への農地集積  
(1 協定)



### 非農家との連携

- 水路や農道の草刈、清掃等実施、花街道やスマイルロードの清掃草刈等を実施 (6集落協定)

## 4. 今後の課題等

当協議会が毎年開催している研修会では、本制度の執行状況及び当該年度の活動状況等について議題としているが、出席者が各集落協定の役員等に固定化される傾向にあるため、より幅広い出席者を募り共通認識を定着させていくことが課題である。

しかし、集落協定の役員メンバーや町担当職員が入れ替わった場合には当協議会が両者の架け橋となっており、円滑な活動をしていく上で重要な役割を果たしている。

### 〔第2期対策の主な成果〕（当地域内の第2期対策に取り組んだ6集落の成果）

- 機械・農作業の共同化 (峠田集落協定 目標5ha／実績9ha)
- 高付加価値化型の実践 (滑津集落協定 目標3ha／実績7.9ha)
- 農地集積 (5集落協定で目標68.4ha／実績74.2ha)
- 規模拡大加算 (峠田集落協定 目標5ha／実績5.8ha)
- 土地利用調整加算 (湯原集落協定 目標33.5ha／実績33.6ha)
- 認定農業者の育成 (3集落協定で4名増加)
- 景観作付面積 (峠田集落協定0.3ha・滑津集落協定0.6ha)